

Adobe® Illustrator® プラグイン
PlugX®-Search+ 2.5
ユーザーズガイド

株式会社 地理情報開発

Copyright ©2014 CHIRI Geographic Information Service Co., Ltd.

Revision 1.0.0

PlugX-Search+2.5 をお求めいただき、ありがとうございます。

このプラグインは、簡単に使える高度な検索・置換機能を Adobe Illustrator に追加して、面倒な編集作業を効率化するお手伝いをします。デザイン加工や入稿前のデータチェックなどに、いつも手元においてお使いいただけることを願っております。

■ 動作環境

Macintosh 版：

日本語版 IllustratorCS6 ～ CC (2014) のいずれかが、その必要システム構成において対応している OS X のバージョン上で正常に動作していること。

Windows 版：

日本語版 IllustratorCS6 ～ CC (2014) のいずれかが、その必要システム構成において対応している Microsoft Windows のバージョン上で正常に動作していること。

■ 追加の情報源

本プラグインに関するご使用上の注意事項、よくあるご質問と回答、アップデートのリリース、マニュアル改訂版の公開などの情報は、当社 Web サイトにて随時公開いたしますのでご確認ください。

地理情報開発 Web サイト CHIRI.COM <http://www.chiri.com/>

■ ユーザーサポートについて

本製品のご使用上のお問合せや技術的なご質問については、下記のサポート専用アドレスにて電子メールで承っております。Illustrator 自体の機能に関するご質問についてはサポート範囲外となりますので、アドビ社が提供するサポートや、市販書籍・関連 Web サイト等をご利用ください。ご質問の際は、お使いのコンピュータ機種、ご使用の OS 及び Illustrator のバージョンを合わせてお知らせ下さいますようお願いいたします。

PlugX サポート専用アドレス support-plugx@chiri.com

※製品仕様やデザインは、改良のため予告なく変更する場合があります。

2014/6(1)

PlugX は、株式会社地理情報開発の登録商標です。

Adobe、Illustrator はアドビシステムズ社の商標です。

Index

はじめに	4
インストール	4
ライセンス認証	4
アンインストール	4
3つのパネル	5
パネルの表示	5
TextSearch+	6
パネル各部の概要	6
チュートリアル	7
オブジェクトモードと文字モードの違い	10
検索範囲の設定	11
検索条件の設定	11
検索後処理の設定	12
検索・処理の実行	14
検索条件リファレンス	18
検索後処理リファレンス	24
PathSearch+	27
パネル各部の概要	27
検索範囲の設定	28
検索条件の設定	28
検索の実行	28
ObjectSearch+	29
機能の概要	29
パネル各部の機能	30
検索の設定と実行	31
置換の設定と実行	32
検索・置換のオプション	33

はじめに

インストール

添付のスタートアップガイドをご参照のうえ、製品 CD に含まれる適切なバージョンの本プラグインのフォルダを Illustrator のプラグインフォルダ内にコピーすることでインストールが完了します。その際、プラグインファイル (aip ファイル) だけでなく、aip ファイルの入ったフォルダごとコピーする必要がありますのでご注意ください。1 台のコンピュータに複数バージョンの Illustrator がインストールされている場合、本プラグインも複数バージョンの Illustrator に対して同時にインストールしてお使いいただくことができます。

※別々のコンピュータに Illustrator がインストールされている場合は、本プラグイン 1 本につき 1 台のコンピュータでのみお使いいただけます。たとえばコンピュータ A に IllustratorCS6、コンピュータ B に IllustratorCC がインストールされている場合、A と B どちらのコンピュータで使いになるかをあらかじめ決めてインストールしてください。両方でお使いになる場合は 2 本必要です。

インストールが終了し、Illustrator を起動するとシリアル番号入力ダイアログボックスが表示されますので、パッケージ内に貼り付けられているシールを参照して入力してください。

ライセンス認証

インストール後、初回の Illustrator 起動時から 60 日以内に当社からライセンスキーを取得していただき、それを入力してライセンス認証を行う必要があります (60 日まではそのままでもお使いいただけます)。詳しい手順については、製品に添付のガイドをご覧ください。

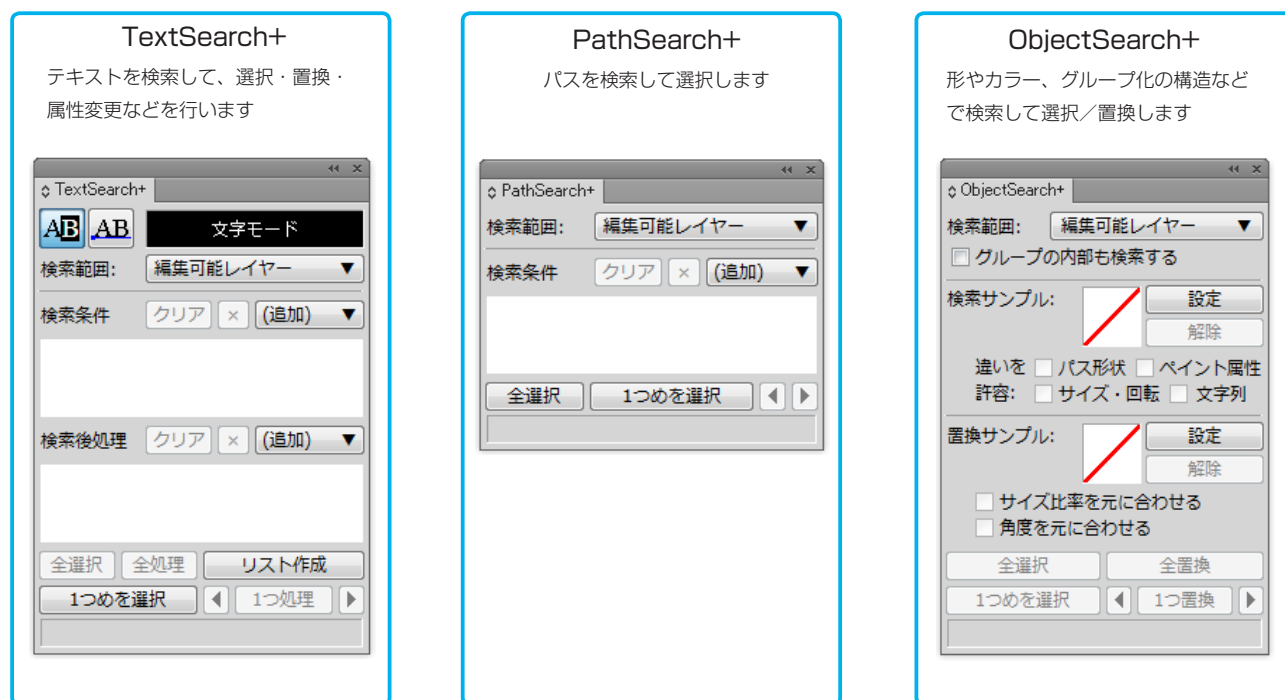
アンインストール

インストール時にコピーした本プラグインのフォルダを削除してください。

他のコンピュータで引き続きご使用になる場合は、そのコンピュータに改めてインストールしたのち、シリアル番号の入力とライセンス認証を行います。以前のコンピュータでご使用になったライセンスキーは入力しても認証されませんので、新しいライセンスキーをご請求ください。その際、一旦「既に他のコンピュータで認証済みです」という通知がまいりますので、折り返し、ご使用コンピュータ変更のむねをご連絡下さい。

3つのパネル

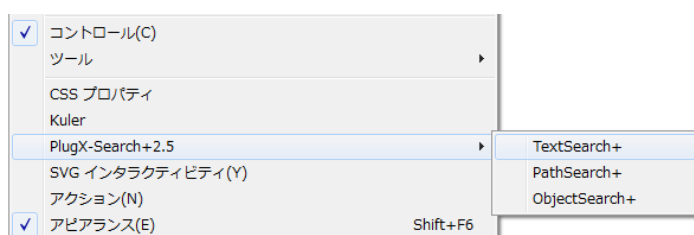
このプラグインは、TextSearch+・PathSearch+・ObjectSearch+ の3つのパネルから構成されています。これらのパネルは、Illustrator 標準のパネル同様、他のパネルとドッキングしたり、アイコン化したりすることができます。



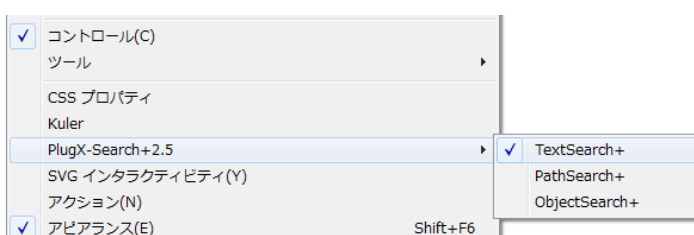
パネルの表示

インストール後に Illustrator を起動したら、Illustrator メニューの [ウィンドウ] - [PlugX-Search+2.5] の下にある各パネルのメニュー項目を選択すると、該当するパネルが表示されます。これらのメニューは、選択するたびに該当パネルの表示／非表示が切り替わります。

パネル名のメニューにチェックが入っていない状態でメニューを選択すると、該当パネルが表示されてチェックマークが入ります。

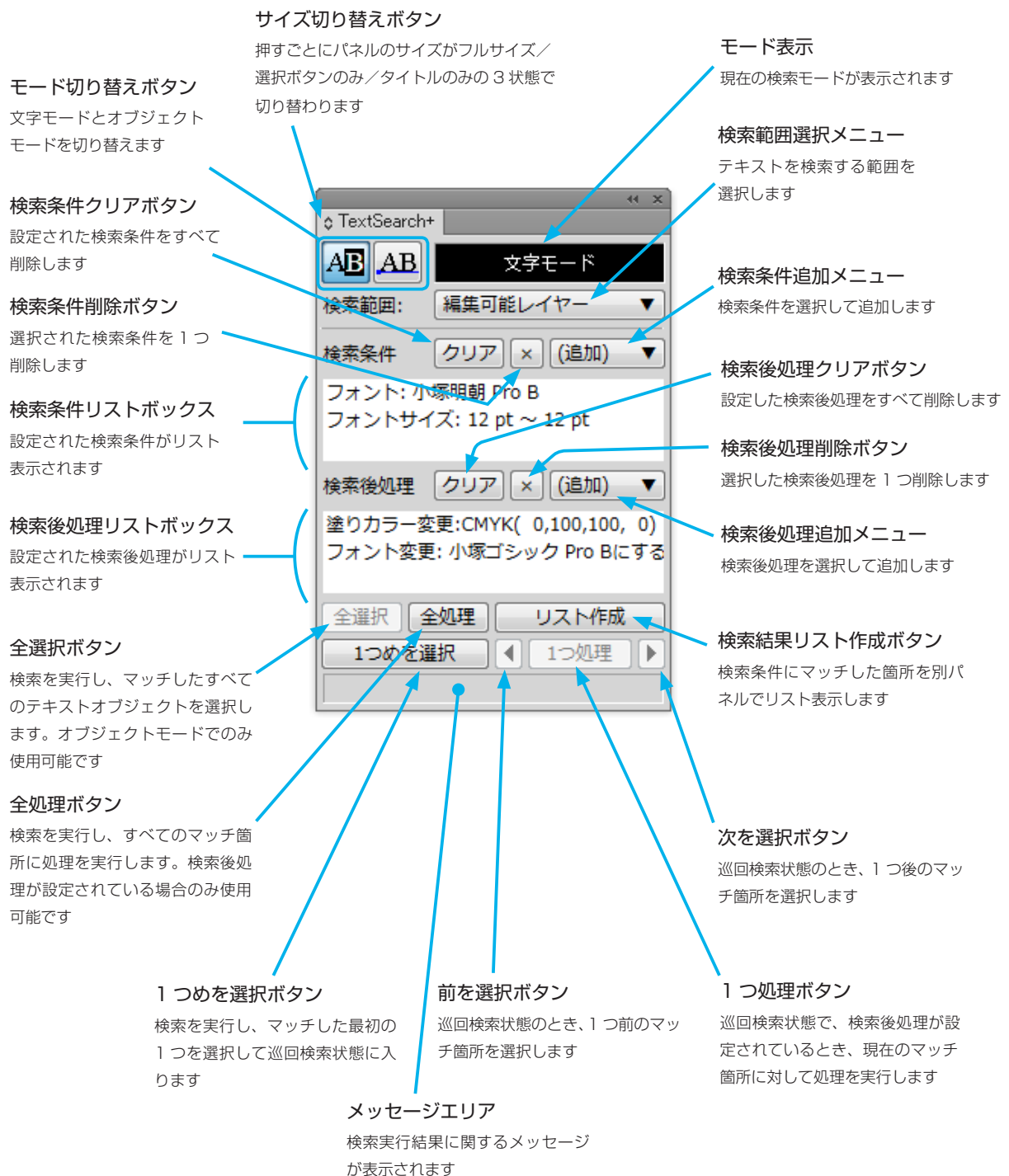


パネル名のメニューにチェックが入った状態でメニューを選択すると、該当パネルが隠されて (非表示になって) チェックマークが消えます。



パネル各部の概要

TextSearch+ のパネル各部の機能概要は、下図の通りです。これらの機能を用途に合わせて使用し、検索や処理を実行していきます。



チュートリアル（基本的な検索の方法）

簡単な検索をいくつか試して、TextSearch+ の機能に慣れてみましょう。

すべてのテキストを一括選択する

TextSearch+ パネルを表示し、テキストオブジェクトを含んだドキュメントを開きます。
※レイヤーのロックはすべて解除しておきます。



AB ボタンを押してオブジェクトモードに変更し、続いて「全選択」ボタンをクリックします。

クリックする



ドキュメント内のすべてのテキストオブジェクトが選択されます。

※この状態では検索条件を全く設定していないので、結果として「すべてのテキスト」が条件にマッチして選択されることになります。

検索・選択結果メッセージが表示されます



TextSearch+

すべてのテキストを順次選択する

続いて、一旦ドキュメント全体の選択を解除し、ドキュメントをある程度拡大表示します。その状態で「1つめを選択」ボタンをクリックします。



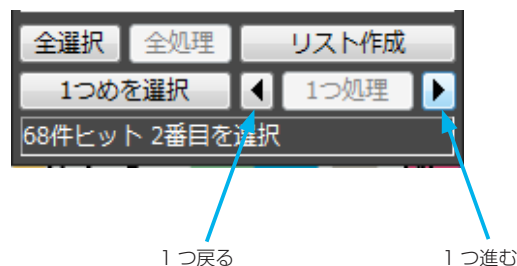
条件にマッチしたテキスト(この場合はすべてのテキスト)のうち、最初にヒットしたテキストオブジェクトが選択され、ドキュメントウィンドウ中央に表示されます。



続いて「次を選択ボタン」▶ をクリックすると、次にヒットしたテキストオブジェクトが選択されます。



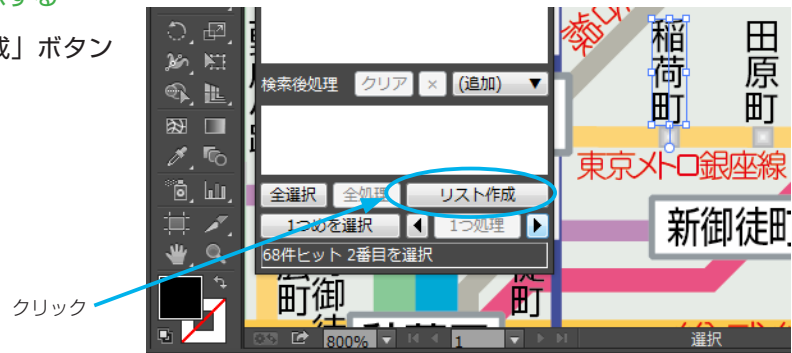
さらに「次を選択ボタン」▶ をクリックしていくと、次々にヒットしたテキストオブジェクトを選択することができます。また、「前を選択ボタン」◀ をクリックすると、1つ前のオブジェクトが選択されます。



TextSearch+

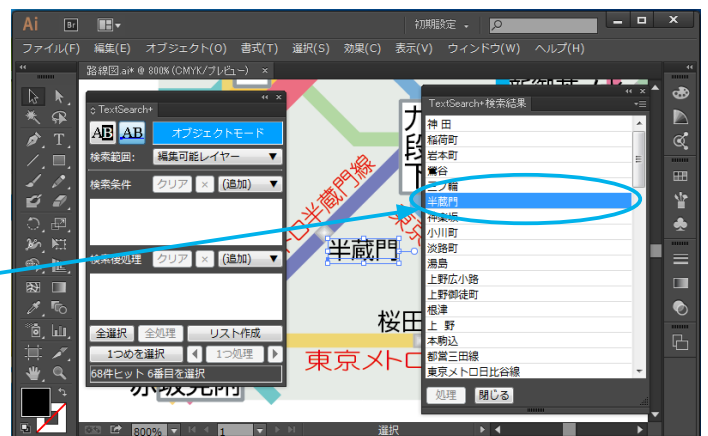
マッチしたテキストのリストを表示する

TextSearch+ パネルの「リスト作成」ボタンをクリックします。



別のパネルが開き、マッチしたテキストの一覧が表示されます。リストの項目をクリックすると、該当するテキストオブジェクトが選択されます。

クリックしたテキストが選択され
画面中央に表示される



文字モードで検索する

文字モードボタン **AB** を押して文字モードに切り替え、「1 つめを選択」ボタンをクリックすると、今度は最初の検索結果がオブジェクトとしてではなく文字として選択されます（文字ツールでドラッグして選択したのと同様）。オブジェクトモードと同様に「次を選択ボタン」 **▶** や「前を選択ボタン」 **◀** を使って、ヒットした箇所を次々に選択していくことができます。



文字として選択された

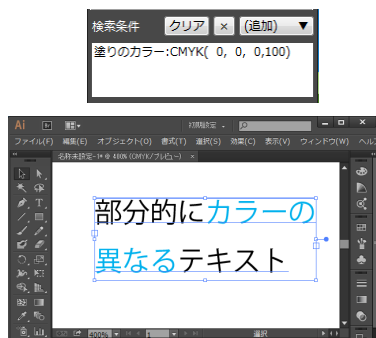
TextSearch+

オブジェクトモードと文字モードの違い

TextSearch+ には、オブジェクトモードと文字モードの 2 つのモードがあります。

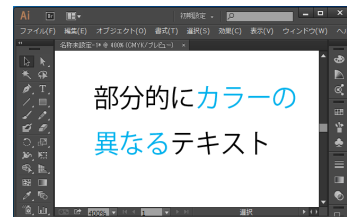
オブジェクトモードでは、検索条件は常にテキストオブジェクトに対する条件として扱われ、検索結果もオブジェクト単位となります。文字モードの場合、検索条件にマッチするかどうかは文字単位で判定されますので、1 つのテキストオブジェクト内で複数の箇所がマッチすることもあります。

検索条件 = 「塗りカラーが K100」の場合



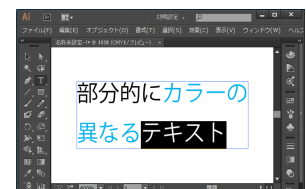
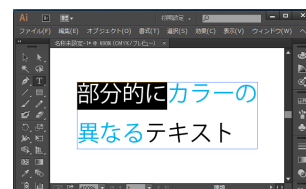
オブジェクトモードで検索

「オブジェクト全体が K100」ではないので、マッチしません。

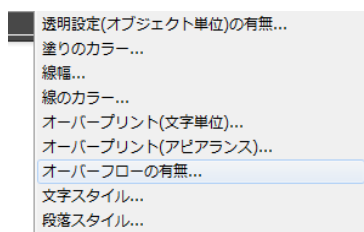


文字モード検索

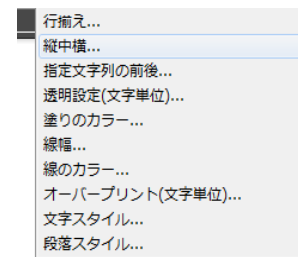
2 箇所がマッチします。



さらに、オブジェクトモードと文字モードでは設定できる検索条件項目・検索後処理項目が異なります。例えば、「オーバーフローの有無」のような条件は、オブジェクト単位で意味を持つのでオブジェクトモードでのみ使用できます。

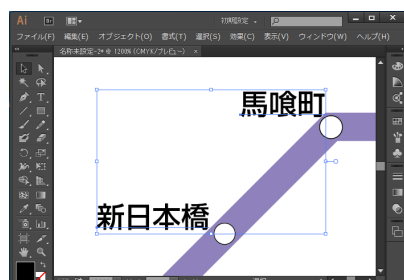


オブジェクトモードの検索条件（部分）



文字モードの検索条件（部分）

また、「全選択」ボタンは、オブジェクトモードでのみ使用可能です。Illustrator はテキストオブジェクトの複数の部分文字列を同時に選択することができないためです。文字モードで検索にヒットした箇所を確認するには、ひとつひとつ巡回して選択するか、「リスト作成」ボタンをクリックして一覧表示します。



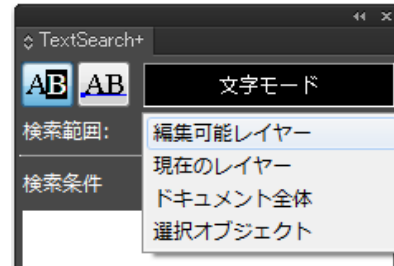
オブジェクト単位ならば複数テキストを選択できる



文字列は 1 箇所しか選択できない

検索範囲の設定

検索範囲は、検索範囲メニューから希望の範囲を選択します。起動時は「編集可能レイヤー」に設定されています。「選択オブジェクト」に設定した場合、検索実行時に既に選択されているオブジェクトの中だけを検索します。



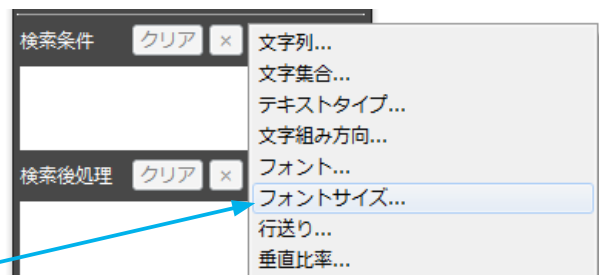
検索条件の設定

必要なだけ複数の条件を組み合わせることで検索することができます。設定した条件は、つねに「AND」（かつ）条件として扱われます。例えばフォントとフォントサイズの条件を両方指定すると、指定したフォント「かつ」指定したサイズのテキストが検索されます。

検索条件を追加する

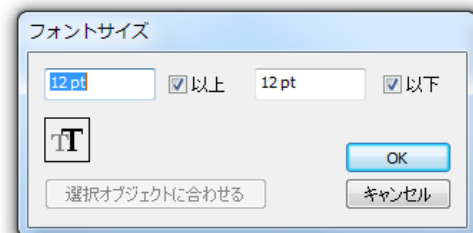
検索条件メニューから、追加したい条件を選択します。

メニューから追加したい条件項目を選択



設定が必要な条件の場合、自動でダイアログボックスが開きますので、設定値を入力して「OK」ボタンをクリックします。「選択オブジェクトに合わせる」ボタンが利用可能な場合、クリックすると現在選択されているオブジェクトに設定値を合わせることができます。

※設定が不要な条件の場合、ダイアログボックスは表示されません。



この操作を繰り返して、必要なだけ条件を追加できます。追加した条件は、検索条件リストに一覧表示されます。



TextSearch+

検索条件を削除する

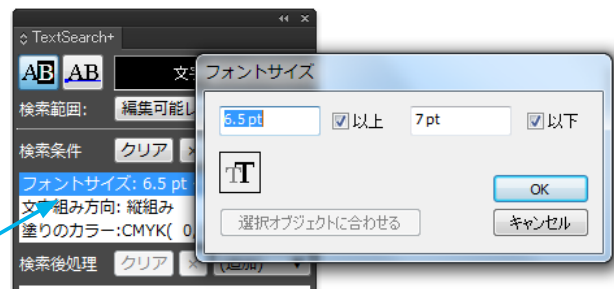
検索条件を削除するには、検索条件リストで削除したい条件を 1 つ選択して削除 (×) ボタンをクリックします。すべての検索条件を削除したい場合は、クリアボタンをクリックします。



検索条件の設定を変更する

検索条件の設定を変更するには、検索条件リストでその条件をダブルクリックします。条件追加の際に入力したダイアログボックスが再び開きますので、必要な設定を行って「OK」ボタンをクリックします。

ダブルクリック

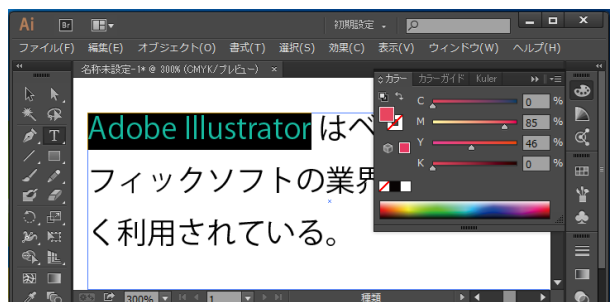


検索後処理の設定

検索条件にマッチした箇所に対して、自動で置換や属性変更の処理を行うことができます。オブジェクト単位の場合はヒットしたオブジェクトすべてを選択して Illustrator 自体の機能でフォントやカラーなどを変更できますが、文字単位では同時に複数の箇所を選択できないので、通常は個別に選択してひとつずつ属性を変更しなければなりません。このような場合でも、TextSearch+ の検索後処理を利用すれば一括で属性変更を行うことができます。



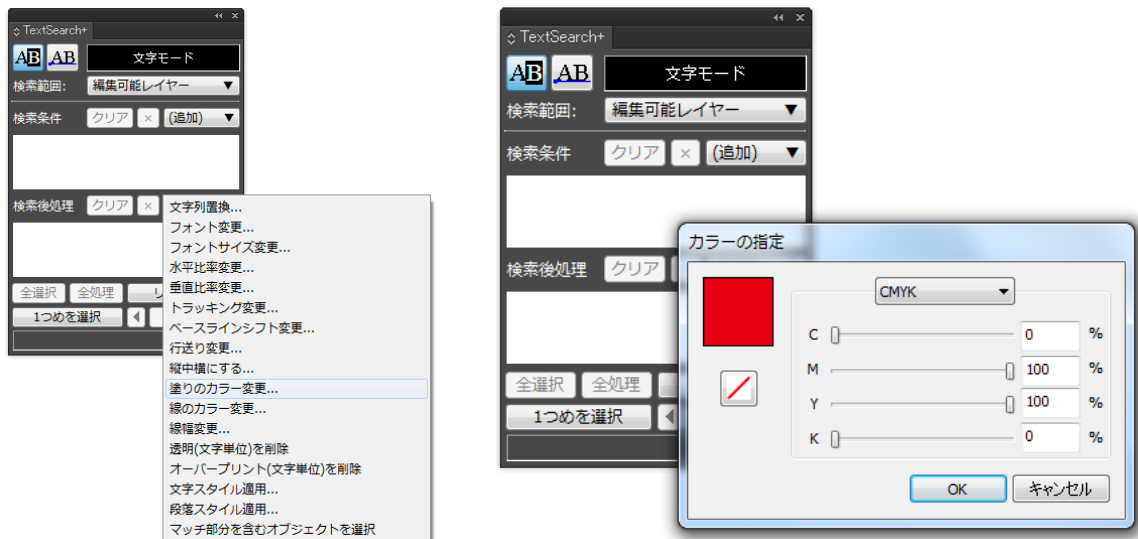
オブジェクト単位でならば、一括選択すれば Illustrator の機能でもまとめて属性変更できる



文字単位の場合は一度に 1 箇所ずつしか変更できない
TextSearch+ の検索後処理を利用すると一括処理可能

検索後処理の追加・削除・設定変更

操作方法は、検索条件の場合と全く同じです。



追加したい処理を選択

必要な設定を行う

処理が追加されました

クリアボタン・削除ボタンで
処理を削除することができます



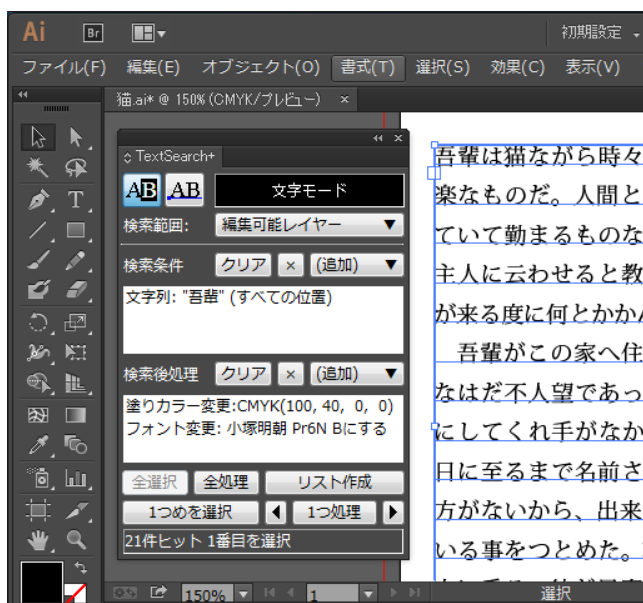
TextSearch+

検索・処理の実行

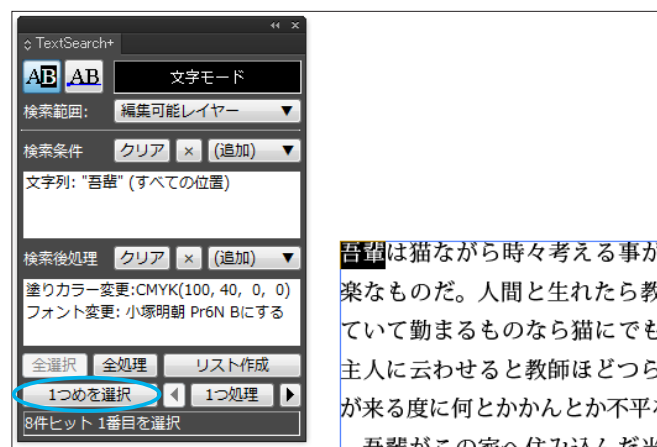
必要な設定を行ったら、検索や処理を実行します。

文字モードの場合

右の例では、条件として「吾輩」という文字列（位置は問わない）を指定しています。一般に文字モードは、1つのテキストオブジェクトの中でも複数の箇所に対してチェックや属性変更を行いたい場合に使用します。

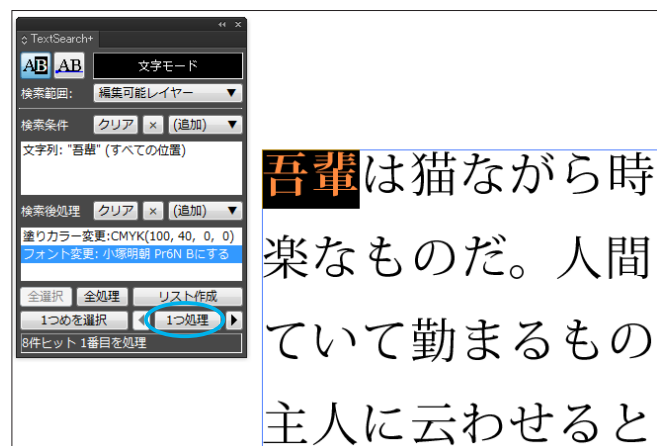


「1つめを選択」ボタンをクリックすると、最初にマッチした箇所が選択されます。さらに▶ボタンや◀ボタンをクリックして、次々とマッチした箇所を選択して、確認していくことができます（巡回検索）。

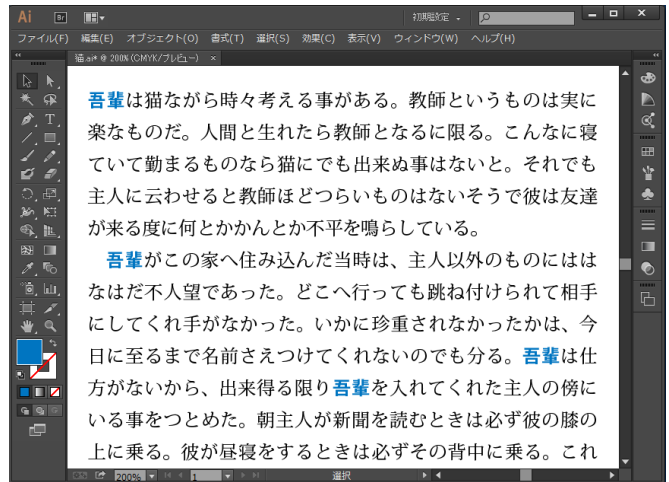


検索後処理を設定してある場合、巡回検索の際に「1つ処理」ボタンをクリックすると、現在選択している箇所に対して検索後処理を実行することができます。

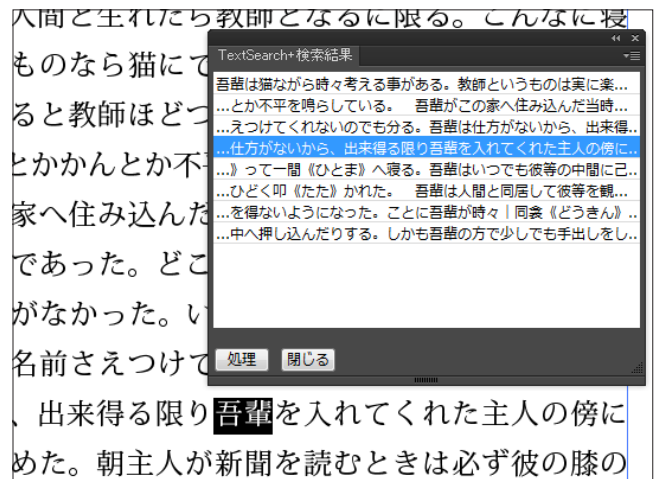
検索条件にマッチした箇所を1つ1つ確認しながら処理したいときなどに有効です。



「全処理」ボタンをクリックすると、検索条件にマッチする箇所すべてを一括で処理することができます。右の例では、フォントの変更とカラーの変更を一括処理しています。これだけの処理がボタン 1 つで実行できました。

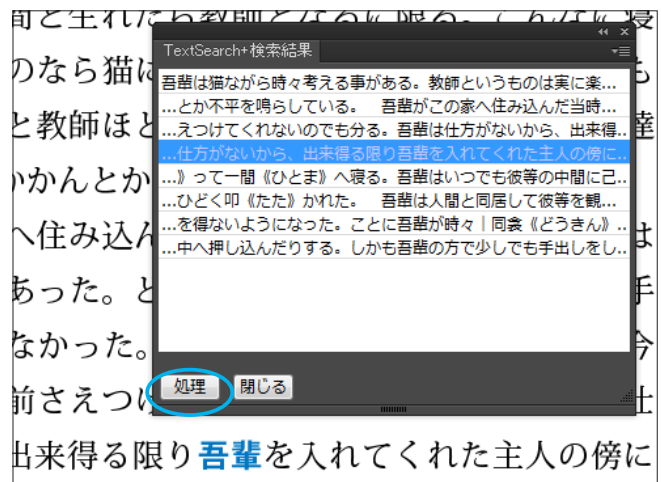


「リスト作成」ボタンをクリックすると、マッチした箇所のリストが表示されます。リストの行をクリックして、相当するマッチ箇所を選択できます。



リストの行をクリックして選択した場合、「処理」ボタンをクリックすることで該当マッチ箇所 1 つだけに検索後処理を実行することができます。巡回検索で「1 つ処理」ボタンをクリックするのと同様です。

処理を実行するとリストの文字がブルーに変わるので、どのマッチ箇所を処理したかを確認できます。

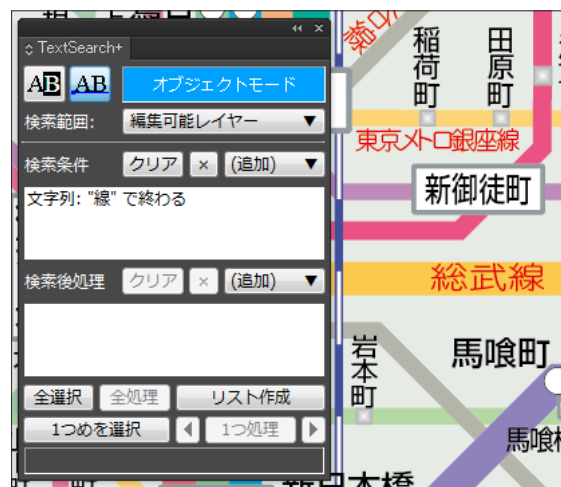


TextSearch+

オブジェクトモードの場合

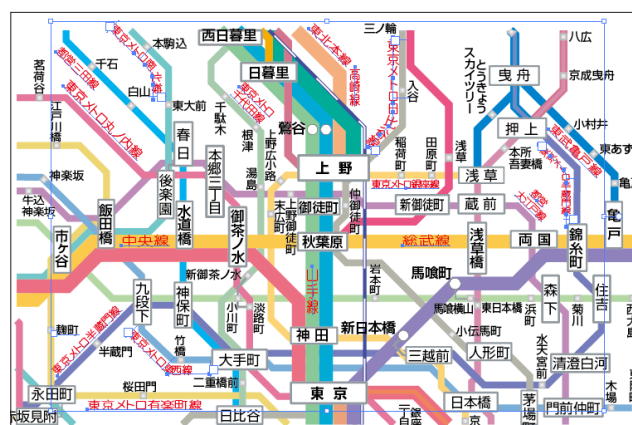
オブジェクトモードは、一般に多数の「テキストオブジェクト」を含む地図やチラシなどを編集する際によく使われます。

右の例では、「線」という文字で終わるという条件を設定して、鉄道路線名のテキストオブジェクトを抜き出そうとしています。



「全選択」ボタンをクリックすると、条件にマッチするテキストオブジェクトをすべて一括選択することができます。

ひとつひとつチェックしたい場合は、文字モードと同様に巡回検索も可能です。



オブジェクトごとにフォントやサイズ、カラーなどの属性を変更する場合は、この一括選択した状態で Illustrator の標準機能を利用して行うことができます。もちろん、文字モードの場合と同様に TextSearch+ の検索後処理機能を使って処理することも可能です。

右の例では、Illustrator の機能でカラーを変更しています。



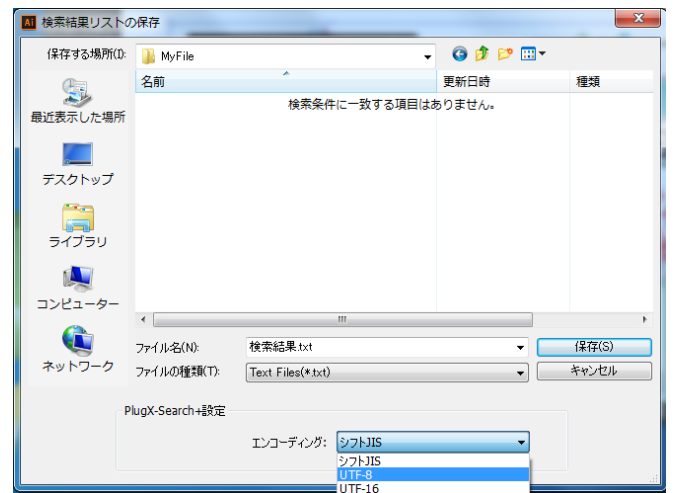
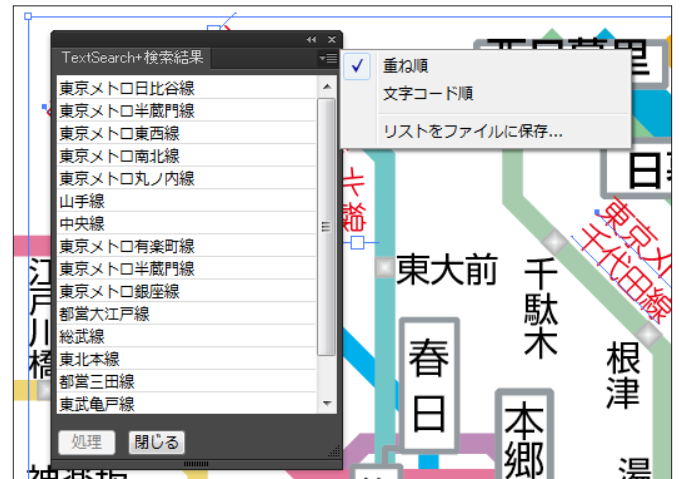
パネルの「リスト作成」ボタンで、検索結果をリスト表示できます。オブジェクトモードでは、条件にマッチしたオブジェクト 1 つにつき 1 行でリストが作成されます。

リストのパネルメニューから、右図のように並び順について

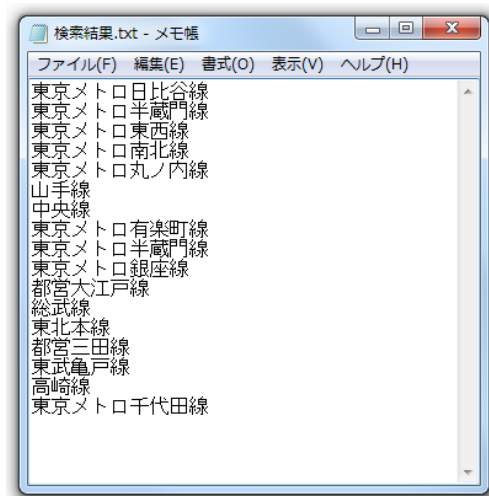
- ・オブジェクトの重ね順
- ・文字列の文字コード順

のどちらかを選択することができます。

また、パネルメニューの「リストをファイルに保存 ...」を選択して、このリスト自体をテキストファイルに保存することが可能です。その場合、文字コードを指定するダイアログボックスが表示されますので、用途に応じてシフト JIS/UTF-8/UTF-16 の中からを選択します。



ファイル保存時の文字コード指定



保存されたテキストファイル

TextSearch+

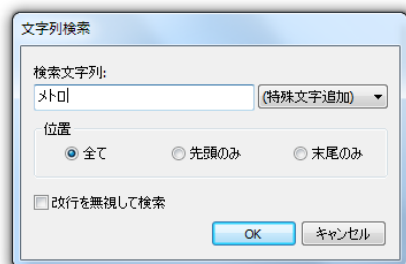
TextSearch+ 検索条件リファレンス

※利用可能な検索条件は、モードによって異なります。

文字列

オブジェクトモードと文字モードで内容が異なります。

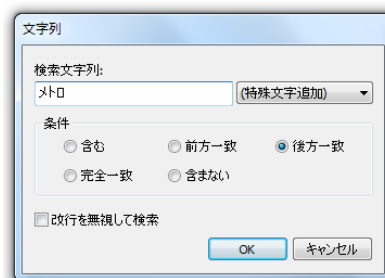
文字モード



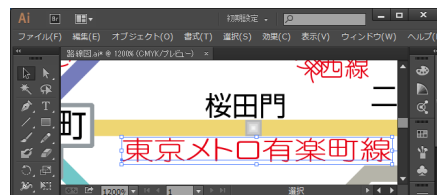
Illustrator の標準の検索と同様、入力した文字列と同じ部分がマッチします。オブジェクト内でどの位置に存在する文字列を対象とするかを指定できます。



オブジェクトモード

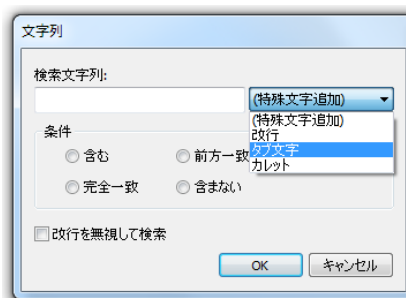


入力した文字列がテキストオブジェクトに「含まれるか含まれないか」で、マッチが判定されます。含まれる場合はそのオブジェクト全体がマッチして選択されます。



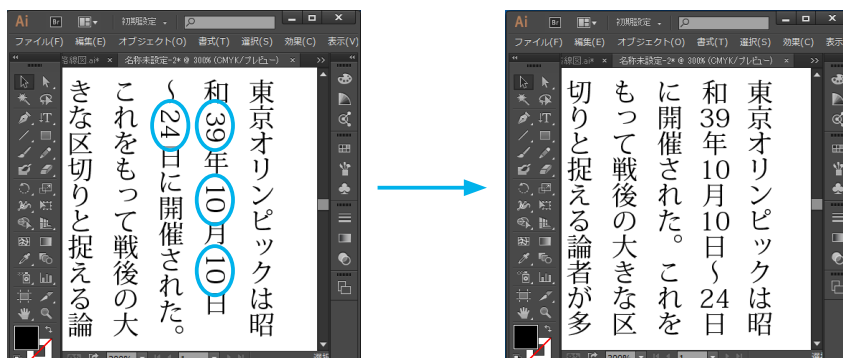
いずれのモードでも、ポップアップメニューから検索文字列に特殊文字を追加することができます。改行文字は「\n」、タブ文字は「\t」、カレットは「^」で表現されます。

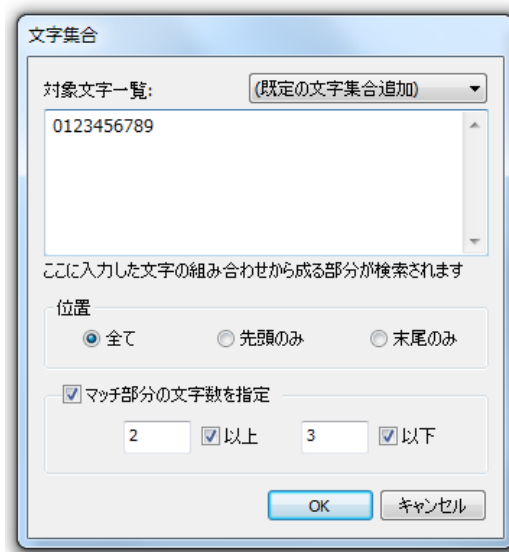
※これらの特殊文字表現（\n など）をそのまま文字通りキーボードで入力しても効果は同じです。



文字集合

入力した文字の任意の組み合わせから成る文字列にマッチします。例えば「半角数字が 2 文字～ 3 文字連続する箇所すべてを縦中横にする」というような処理を行うのに利用できます。





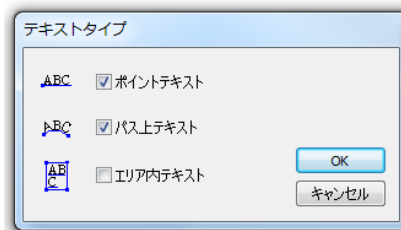
プルダウンメニューから既定の文字集合を選択するか、直接キーボードで入力して、検索対象とする文字を指定します。

テキストオブジェクト内でどの位置にあるものを対象とするかを選択します。

対象文字が連続する長さを指定したいときはここで設定します。

テキストタイプ

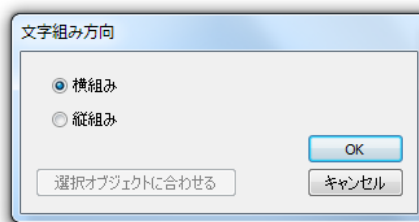
テキストオブジェクトの3つのタイプのうち、マッチさせたい種別を選択します。



※3種類すべてを選択すると「OK」をクリックできません。これは「すべてのテキストタイプとマッチする」ことになって、テキストタイプ条件を設定しないのと同じだからです。

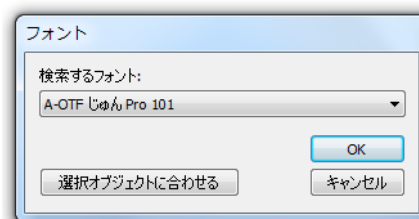
文字組み方向

マッチさせたい文字組み方向を選択します。



フォント

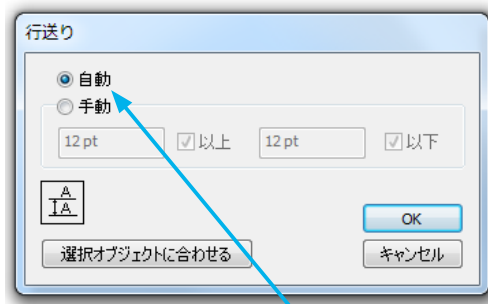
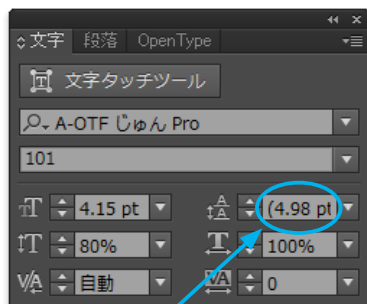
ダイアログボックスのポップアップリストから、検索したいフォントを選択します。リストには現在のドキュメント内で使用されているフォントだけが表示されます。



TextSearch+

行送り AB

行送りの値を指定します。フォントサイズに応じた自動送りのテキストを検索したい場合、「自動」ラジオボタンをクリックして選択します。



ここがカッコ付きの値＝自動行送りを指定するには

「自動」ラジオボタンをクリックします

フォントサイズ AB

トラッキング AB

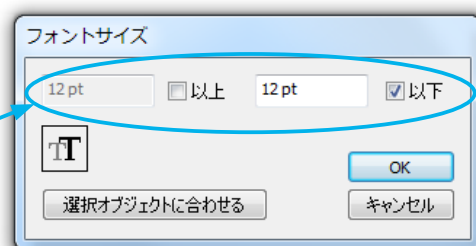
垂直比率 AB

水平比率 AB

ベースラインシフト AB

これらの文字属性値で検索するには、マッチさせたい範囲の最小値と最大値のどちらか、または両方をダイアログボックスで設定します。

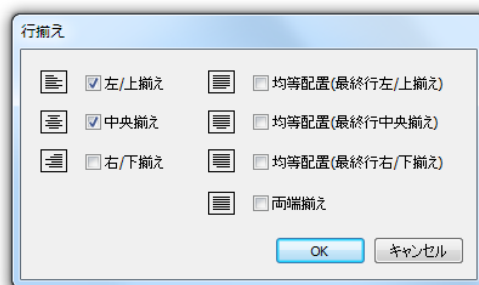
チェックを外した設定値は無視されるので
この場合は「12pt 以下」指定のみ有効になります



フォントサイズを指定する例

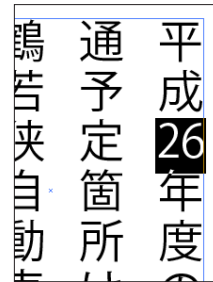
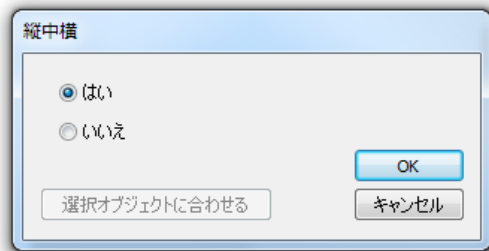
行揃え AB

検索したい段落の行揃えの種類を選択します。



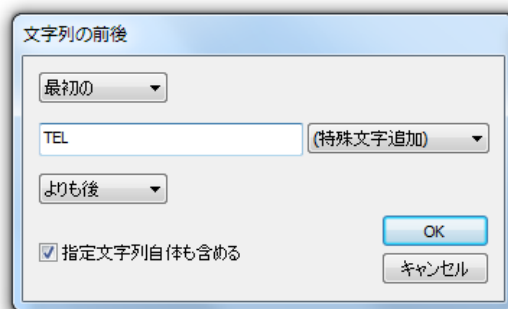
縦中横 AB

テキストに縦中横の指定がされている箇所を検索します。



指定文字列の前後 AB

これは一風変わった検索条件ですが、テキストオブジェクト中、指定した文字列が出現する箇所を基準として、その文字列より前の部分、あるいは後の部分を検索するものです。指定した文字列が含まれないテキストオブジェクトの場合、マッチする部分はありません。オプションで、マッチ部分に指定文字列自体も含めることもできます。



左のように指定すると、このようにマッチします

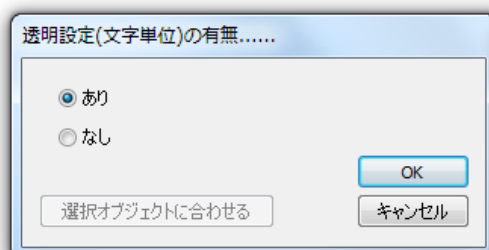


例えば「改行より後の部分」と指定すると、2 行のポイントテキストに対してこのように 2 行目だけをマッチさせることもできます

透明設定の有無（文字単位） AB

文字のカラー設定に、透明設定が含まれるかどうかの条件を指定します。ここで言う「透明あり」とは、描画モードで「通常」以外が設定されている場合と、不透明度で 100% 以外の値が設定されている場合を指します。

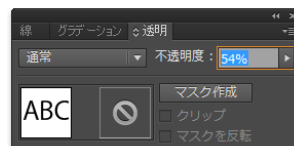
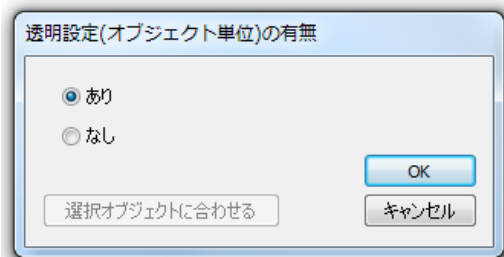
透明は、テキストに対しては文字単位またはオブジェクト単位で設定できますが、この両者は別物です。この検索条件でマッチするのは文字単位で設定した透明の有無になります。オブジェクト単位の透明設定有無は、オブジェクトモードで検索条件「透明設定透明設定の有無（オブジェクト単位）」を使用して検索できます。



選択ツールで選択して設定された透明設定のあるテキストオブジェクトを検索します。

透明設定の有無（オブジェクト単位）

文字単位ではなく、オブジェクト単位の透明設定が含まれるかどうかの条件を指定します。



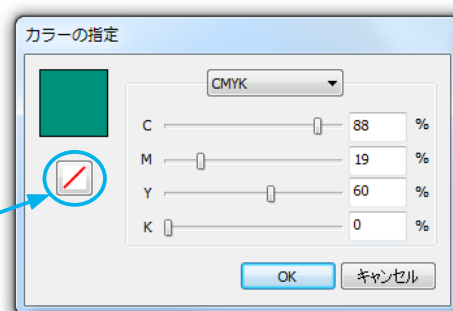
塗りのカラー

線のカラー

それぞれ、塗りと線について文字に適用されているカラーで検索条件を指定します。アピアランスで追加した塗りや線のカラーは対象外です。現在、対応しているカラー種別は CMYK カラー・RGB カラー・グレースケールの 3 種、あるいは色無しの場合です。カスタムカラー（特色）・パターン・グラデーション等には対応していません。

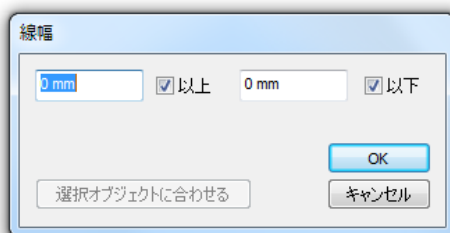
※ CMYK カラーの K 成分のみの場合は、グレースケールのカラーとは別の色として扱われます。

このボタンをクリックすると「無色」のテキストを検索する指定になります



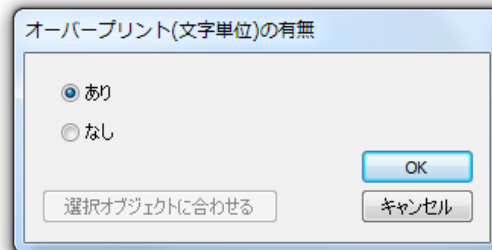
線幅

文字に線のカラーが設定されている場合の線幅で検索します。アピアランスで追加した線は対象外です。



オーバープリント（文字単位）

文字のカラーにオーバープリントが設定されているかどうかで検索します。塗り・線のどちらか一方にでもオーバープリントが設定されていれば、「オーバープリントあり」と判定されます。アピアランスで追加した塗りまたは線のオーバープリントは、オブジェクトモードの「オーバープリント（アピアランス）」条件で検索します。

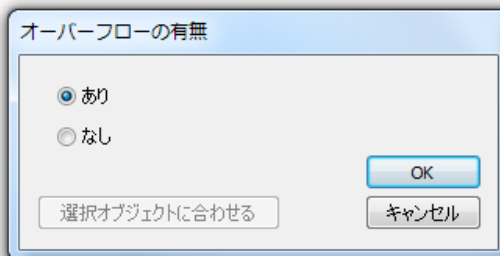


オーバープリント（アピアランス）

アピアランスで追加した塗りまたは線に、オーバープリント設定があるかどうかで検索します。

オーバーフローの有無

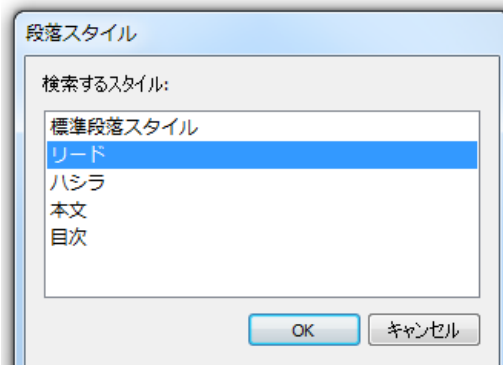
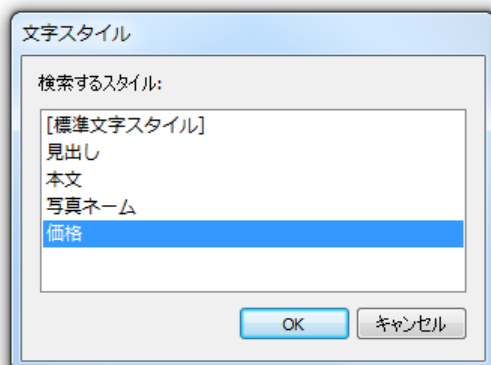
パス上テキストまたはエリアテキストで、文字があふれているかどうかで検索します。ポイントテキストは、すべてオーバーフロー「なし」と判定されます。



文字スタイル

段落スタイル

ドキュメントで定義されている文字スタイルや段落スタイルについて、適用されている箇所を検索します。

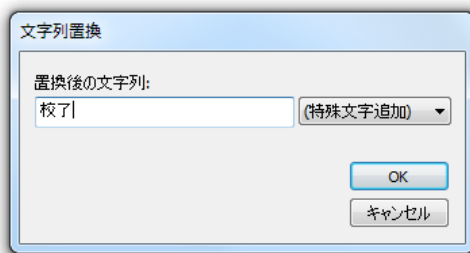


TextSearch+ 検索後処理リファレンス

※利用可能な検索後処理は、モードによって異なります。

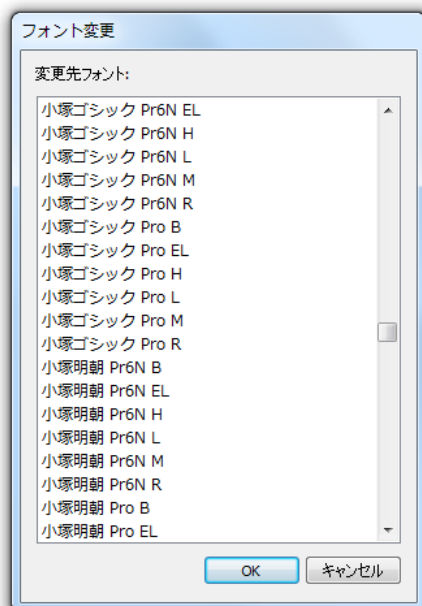
文字列置換

検索条件にマッチした箇所を置換します。Illustrator の検索・置換機能では、指定した文字列に合致した部分を別の文字列に置換、という動作しかできませんが、TextSearch+ の場合はマッチ条件は文字列一致以外にも多彩な条件を設定可能です。



フォント変更

リストにシステムで利用可能なフォントが一覧表示されるので、変更先のフォントを選択します。



※ダイアログボックスの大きさは変更
することができます。

フォントサイズ変更

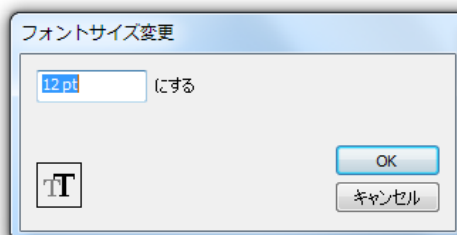
水平比率変更

垂直比率変更

トラッキング変更

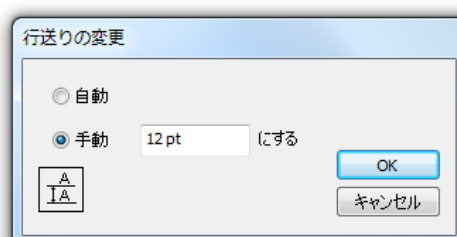
ベースラインシフト変更

これらのテキスト属性変更処理では、変更後の値を指定します。



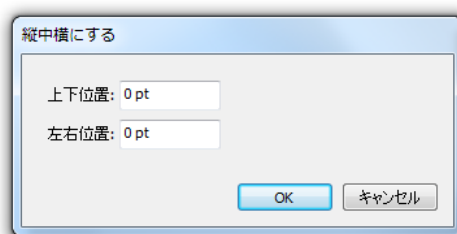
行送り変更

行送りの変更では、「自動」を選択するか、「手動」を選択して変更後の値を指定します。



縦中横にする

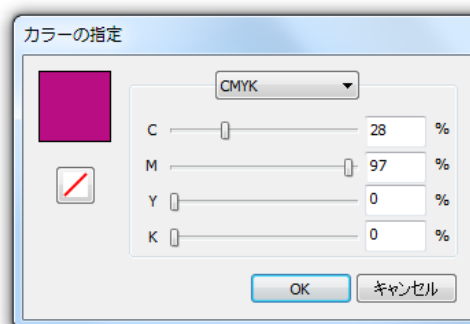
位置調整が必要な場合は、数値を入力します。



塗りのカラー変更

線のカラー変更

変更後のカラーを指定します。パターンやグラデーション、カスタムカラーは指定できません。通常のCMYK/RGB/ グレースケールのカラーで指定します。



線幅変更

変更後の線幅を指定します。元々線のペイントが無色だった文字に線のカラーを着けたい場合、この線幅も同時に指定してください。

透明（文字単位）を削除

条件にマッチした箇所に対して、文字単位で設定された透明をなくします。描画モードは「通常」になり、不透明度は 100% となります。

オーバープリント（文字単位）を削除

条件にマッチした箇所に対して、文字に設定されたオーバープリントをなくします。アピアランスで追加された塗りや線のオーバープリントは処理されません。

マッチ部分を含むオブジェクトを選択

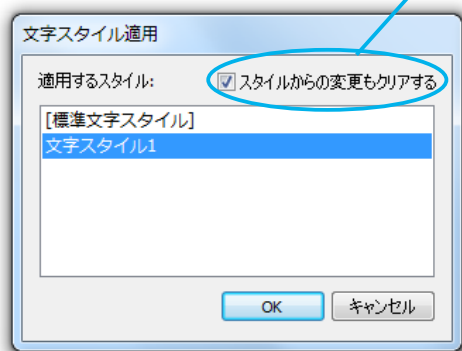
条件にマッチした箇所を含むテキストオブジェクトを選択します。文字モードで検索・処理したオブジェクトを確認したい場合などに使用します。例えば、縦中横を含むテキストオブジェクトを選択したい場合などに利用できます。

文字スタイル適用

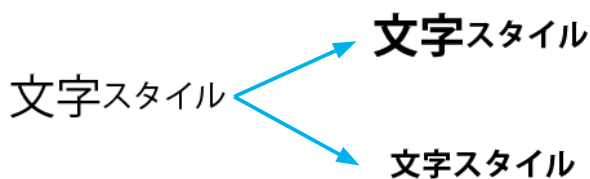
段落スタイル適用

条件にマッチした箇所に対して、そのドキュメントで定義されている文字スタイルまたは段落スタイルを適用します。適用する際に、もともと部分的に設定していたスタイルからの変更をクリアするかどうかを選択することができます。

このオプションのオン／オフで動作が変わります



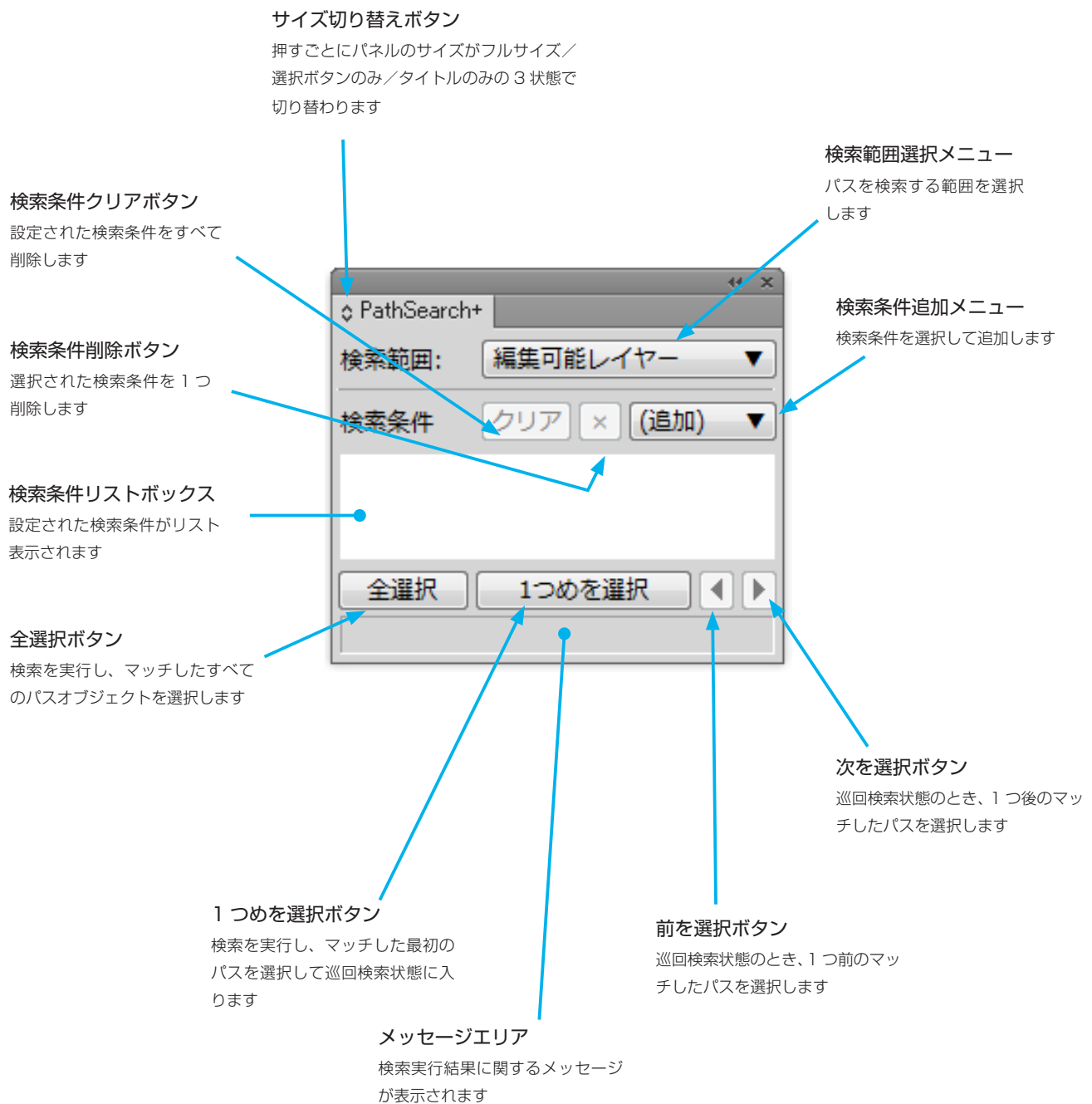
オフの場合、部分的に変更した文字のスタイル（この例ではフォントサイズ）はそのままとなります。



オンの場合、部分的に変更したフォントサイズはクリアされて、すべて選択したスタイル定義の通りになります。

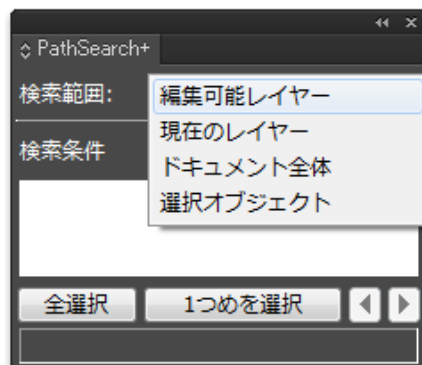
パネル各部の概要

PathSearch+ のパネル各部の機能概要は、下図の通りです。TextSearch+ とは「検索後の処理」の部分がないところ以外はほぼ同じです。



検索範囲の設定

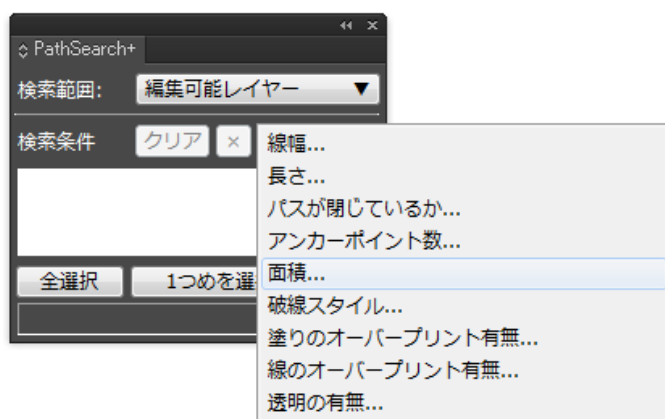
検索範囲は、検索範囲メニューから希望の範囲を選択します。起動時は「編集可能レイヤー」に設定されています。「選択オブジェクト」に設定した場合、検索実行時に既に選択されているオブジェクトの中だけを検索します。



検索条件の設定

必要なだけ複数の条件を組み合わせることで検索することができます。設定した条件は、つねに「AND」（かつ）条件として扱われます。例えば「線幅」と「パスが閉じている」という条件を設定した場合、指定線幅で「かつ」閉じているパスが検索対象となります。値の設定が必要な条件の場合、ダイアログボックスが表示されるので値を入力します。

TextSearch+ と同様、クリアボタン・検索条件削除ボタンのクリックで条件を一括または 1 つずつ削除できます。また、追加した条件をダブルクリックすると設定ダイアログボックスが再度表示され、設定値を変更できます。

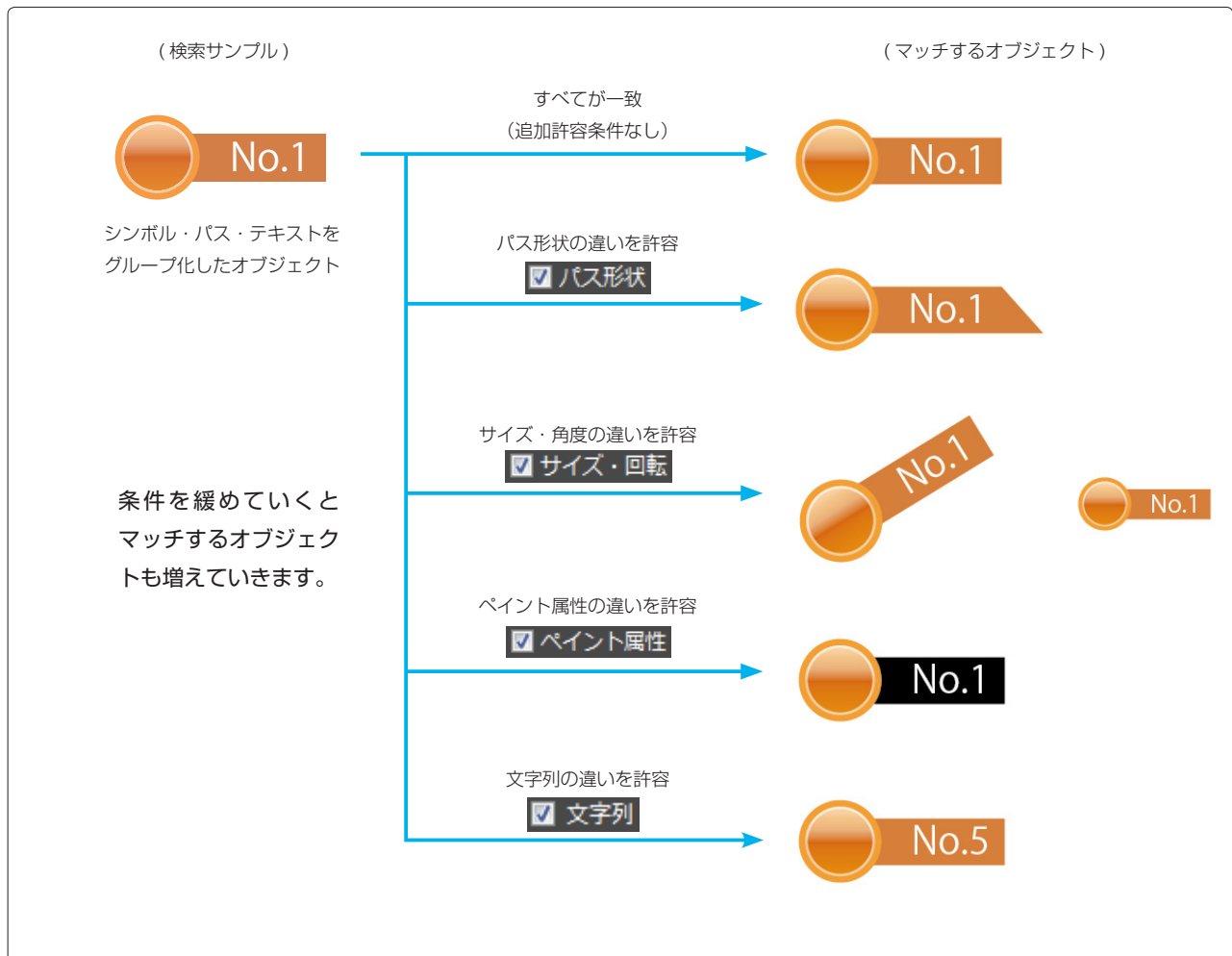


検索の実行

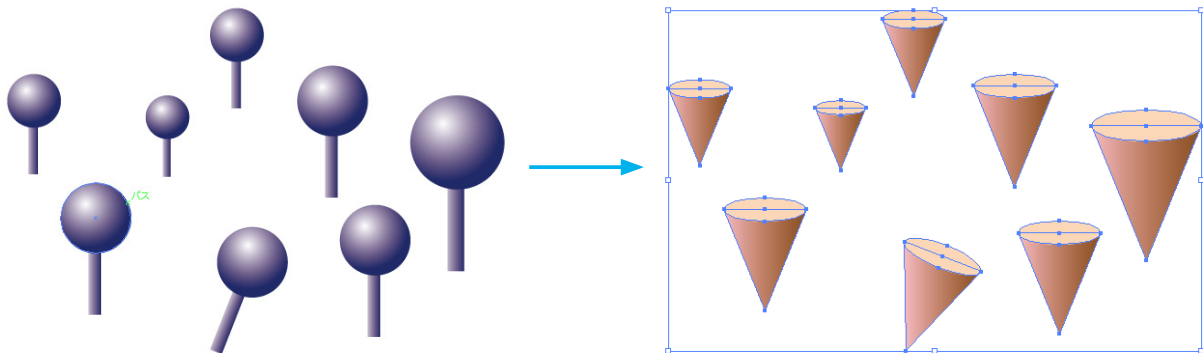
TextSearch+ のオブジェクトモードと同じく、「全選択」ボタンで条件にマッチしたパスをすべて選択できます。また、1 つめを選択・前を選択・次を選択の各ボタンを使用して巡回検索を行うことが可能です。

機能の概要

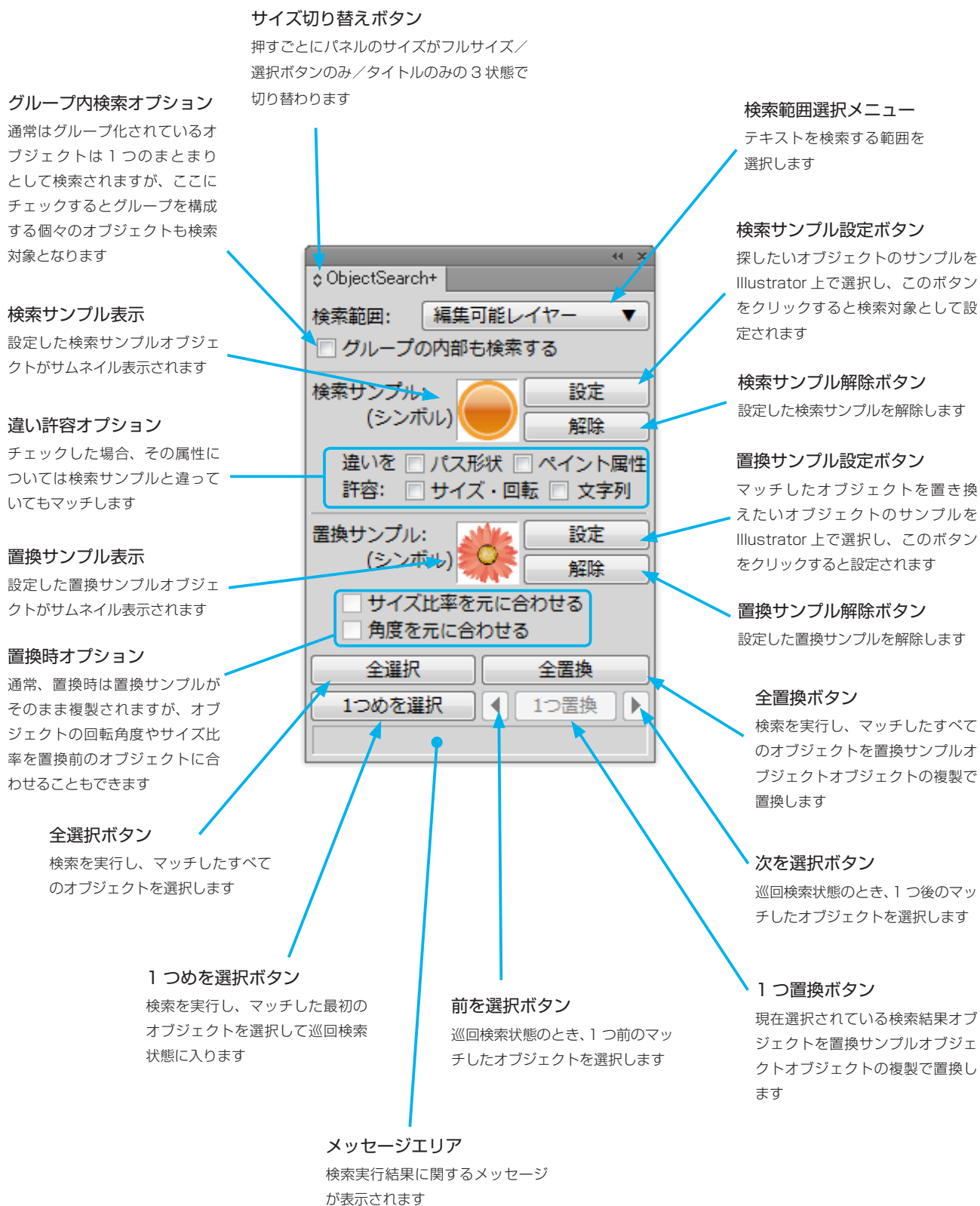
ObjectSearch+ は、オブジェクトの種別・パスの形・アピランス・グループ構造・シンボルの種類・テキストの文字列などを総合的に判断して、それらが合致するオブジェクトを選択したり、別のオブジェクトで置換するために使用します。例えば、条件をコントロールすることで次のようにマッチさせることが可能です。



マッチしたオブジェクトを、別のオブジェクトで一括置換することができます。



パネル各部の機能



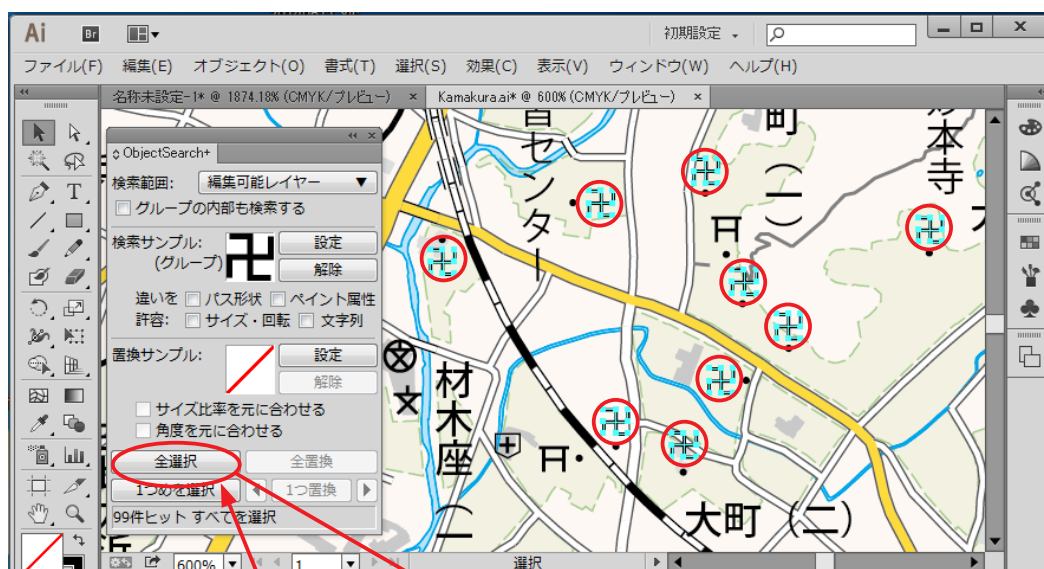
検索の設定と実行

検索したいオブジェクトをまず 1 つ選択します。その状態で、検索サンプル設定ボタンをクリックすると、そのオブジェクトが検索対象となってパネルにサムネイル表示されます。設定できたら、「全選択」ボタンをクリックすると、検索サンプルと同じオブジェクトがすべて選択されます。「1 つめを選択」や三角矢印ボタンを使って、ひとつずつ順次検索・選択していくことも可能です。



サムネイル表示される

1 つ選択して設定ボタンをクリック



クリック

同じ構造・色・形のオブジェクトがすべて選択されました

この例では、パスをグループ化して作られたオブジェクトを検索して選択しましたが、テキストやシンボル等を合わせて含むグループや、単独のシンボルなどを検索することもできます。方法は上の場合と同様に、探したいオブジェクトを検索サンプルとして設定するだけです。

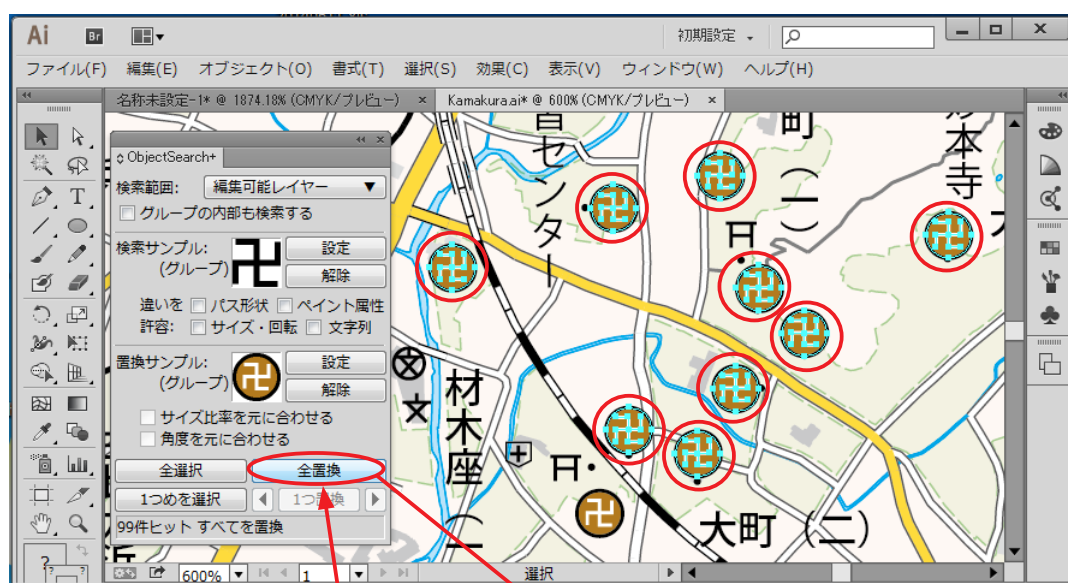
ObjectSearch+

置換の設定と実行

検索したオブジェクトを、その位置で別のオブジェクトに置換することもできます。その場合、検索サンプルの設定に加えて、置換したいサンプルを同様に設定します。



置き換えたいオブジェクトを1つ描いて設定しました



クリック

検索でマッチしたオブジェクトがすべて置換されました

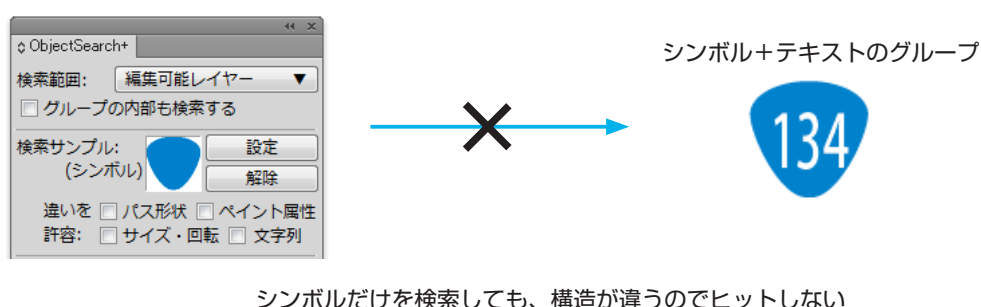
その他、「違いを許容」の各オプションや置換時の「サイズ比率を元に合わせる」「角度を元に合わせる」オプションを利用することで、さまざまなパターンの検索・置換を実行することができます。

検索・置換のオプション

オプションの設定によって、検索・置換のしかたを変えることができます。用途に応じてご利用ください。

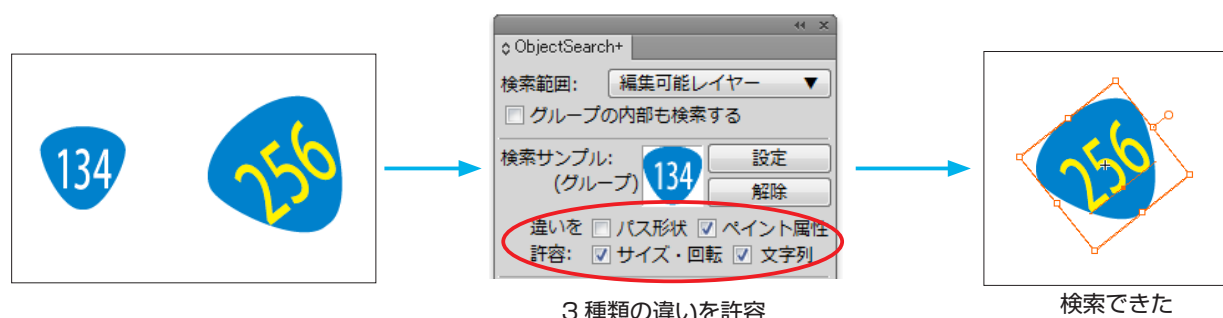
グループの内部も検索する

検索サンプルにマッチするオブジェクトを探す際、グループ化されたオブジェクトはひとまとまりとしてマッチするかしないかが判定されます。従って、下のように探したいオブジェクトが他のオブジェクトとグループ化されている場合、検索することができません。このような場合に「グループの内部も検索する」をオンにすると、グループ内に含まれる個別の要素も検索対象になるので探すことができます。



違いを許容

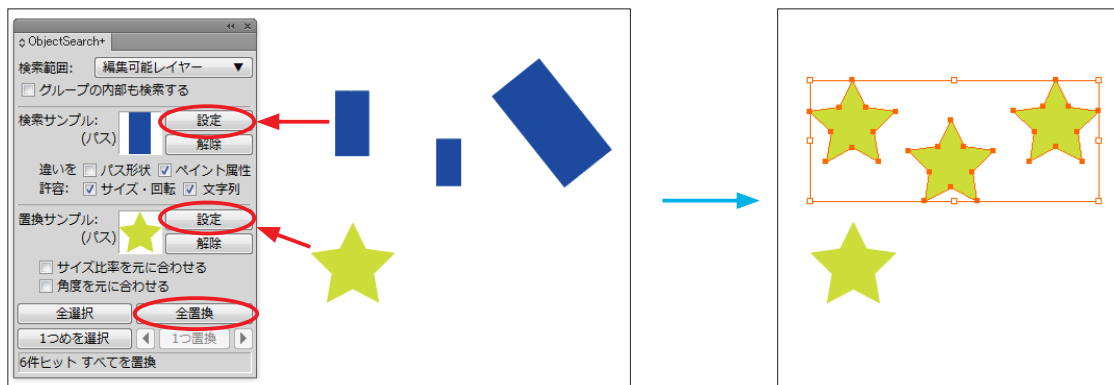
機能の概要でご説明したように、これらのオプションをオンにすることで、検索サンプルに設定したオブジェクトとある程度違いのあるオブジェクトも検索することができます。例えば下の例では、左のグループと右のグループではサイズ・角度・テキストの色と文字列内容が異なりますが、オプションの設定により、一方を検索サンプルとして、もう一方も探せるようになります。



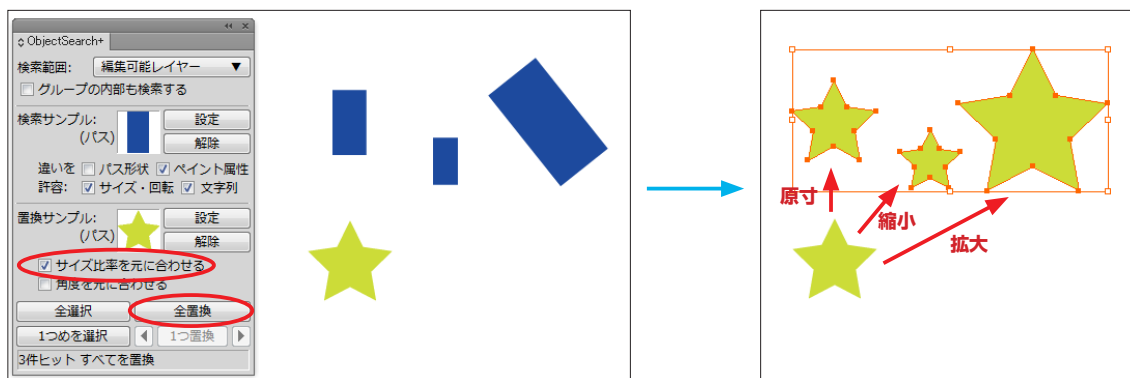
ObjectSearch+

置換オプション：サイズ比率を元に合わせる・角度を元に合わせる

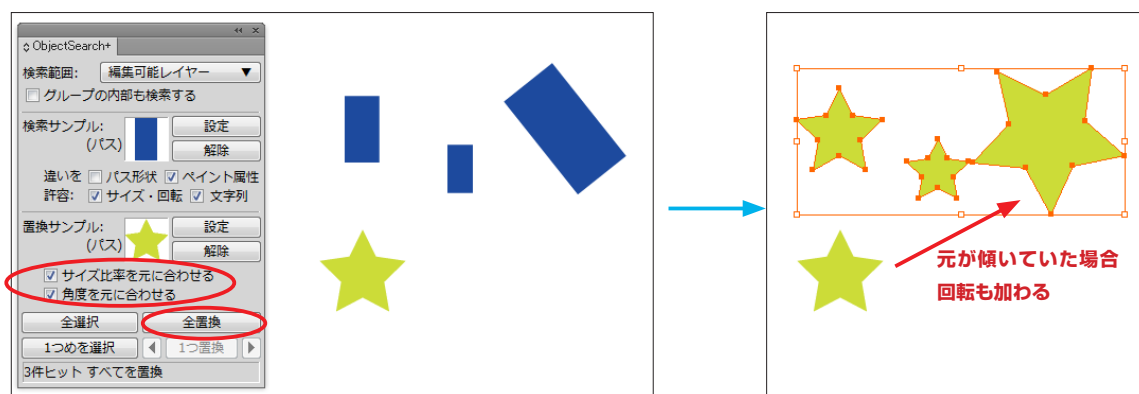
これらのオプションは、いずれも「サイズ・回転」の違いを許容して検索し、別のオブジェクトで置換する場合に利用できます。



通常の置換＝置換サンプルがそのままの大きさ・角度で複製配置されます



「サイズ比率を元に合わせる」をオンにすると、ヒットしたオブジェクトが検索サンプルと同じ大きさだった場合は置換サンプルが原寸で配置され、サイズが異なっていた場合は検索サンプルとのサイズ比率に応じて拡大縮小のうえ配置されます。



さらに「角度を元に合わせる」もオンにすると、ヒットしたオブジェクトと検索サンプルの角度の差に応じて、置換サンプルが回転されて配置されます。